

犬の下痢症に対するベルベリン配合止瀉剤ならびに 生菌配合整腸剤の治療効果

松嶋 彩^{1)†} 島田洋二郎²⁾ 奥田英令²⁾ 保志昌子³⁾
中村遊香³⁾ 日笠喜朗¹⁾

1) 鳥取大学農学部 (〒680-8553 鳥取市湖山町南4-101)

2) 獣医医療開発(株) (〒136-0076 江東区南砂3-8-2-706)

3) 共立製薬(株) (〒102-0073 千代田区九段北1-12-4 徳海屋ビル)

(2008年8月15日受付・2008年12月1日受理)

要 約

犬の急性下痢症に対して、ベルベリン配合動物用整腸消化剤 (BB剤) および生菌配合動物用止瀉剤 (DB剤) を単剤投与あるいは併用投与し、対照である人用止瀉剤 (Ph剤) およびプラセボ剤 (P剤) とその治療効果を比較した。試験に供した犬126頭を、BB群、DB群、BB + DB群、Ph群およびP群の5群に分け、各製剤を投与した。その結果、BB剤およびDB剤の単剤投与は、下痢に対する治療効果を有することが明らかになった。また、BB剤およびDB剤を併用により治癒までの日数が短縮し、その治療効果も増強することが明らかになった。

——キーワード：犬，下痢，止瀉剤，整腸剤，消化剤。

----- 日獣会誌 62, 789~795 (2009)

† 連絡責任者：松嶋 彩 (鳥取大学農学部獣医学科獣医内科学分野)

〒680-8553 鳥取市湖山町南4-101 ☎・FAX 0857-31-5432 E-mail : matsuu@muses.tottori-u.ac.jp